

## 2 H氏従軍中の日本陸軍の状況

### (1) 軍 歴

1939(昭和14)年12月 現役入隊 第32師団野砲第1連隊  
1943(昭和18)年12月 除隊  
1944(昭和19)年8月 召集  
1945(昭和20)年8月 八丈島で敗戦を迎える  
12月 復員

### (2) 第32師団

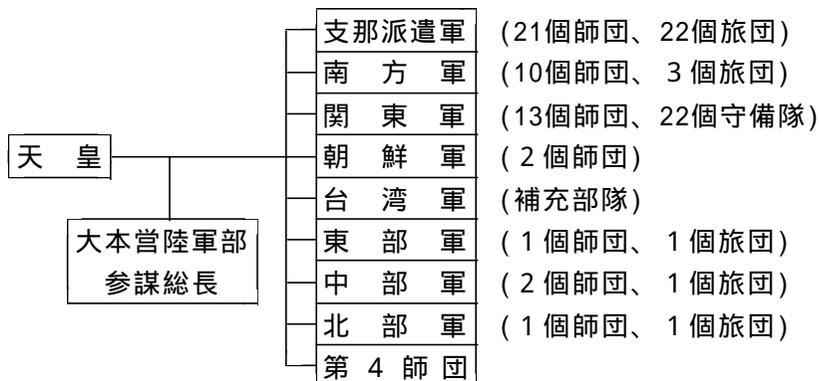
通称：楓 編成時期：1939(昭和14)年2月7日 編成地：東京 補充担任：東京  
所属歩兵連隊：第210連隊(甲府)、第211連隊(東京)、第212連隊(佐倉)

「盧溝橋事件が1937(昭和12)年7月に勃発し、日本と中国は全面戦争に突入したが、蒋介石総統率いる中国国民党政府も徹底抗戦して日本に屈しなかったため、戦争は泥沼化の様相を呈してきた。そうした中、中国での占領地の警備、治安維持のために設けられた師団が第32～41の10個師団であった。...

第32師団は編成後、華北の山西省で治安作戦に従事し、太平洋戦争が始まった後も中国大陆でさまざまな治安作戦に参加した。しかし、太平洋の戦局が悪化してくると、たとえ治安師団といえども戦線の穴埋めのために南方転出を余儀なくされ、44(昭和19)年4月、第32師団は第14軍に編入されてフィリピンに進出した。(後略)」近現代史編纂会編『陸軍師団総覧』(新人物往来社、2000年)163頁

### (3) 1941(昭和16)年12月太平洋戦争開戦直前における日本陸軍部隊配備の概要

中国国際戦略研究基金会編『中国版：対日戦争史録』(官公庁史料編纂会、1995年)359-60頁

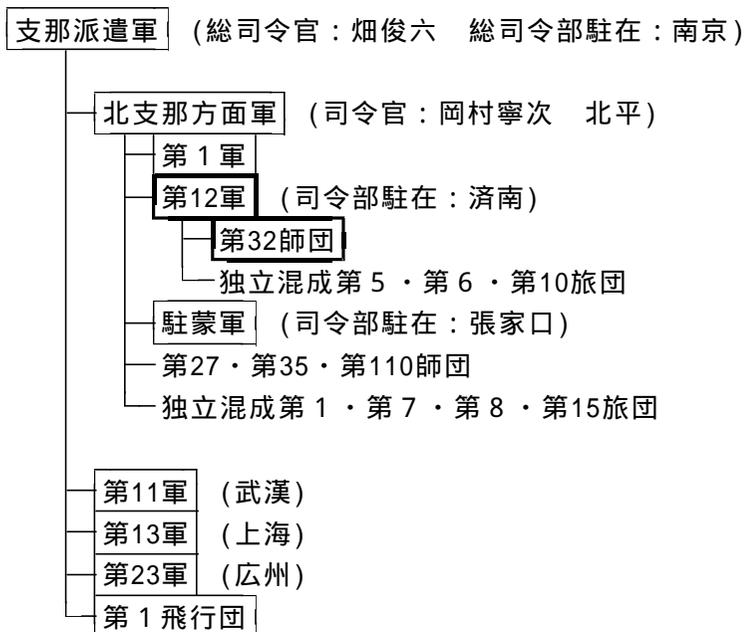


上図は、H氏が中国に駐屯していた頃の日本陸軍の全部隊である。

支那派遣軍が中国に駐屯し、約百万人の兵力を擁した。北支那方面軍など各地に展開している。H氏が所属する第32師団は、下図のように北支那方面軍の第12軍に所属している。

南方軍は、東南アジアへの派遣部隊。関東軍は満州国に駐屯。

東部・中部・北部軍は内地(日本国内)に駐屯。第4師団(大阪)は大本營の直轄部隊で、このときは南方派遣までの待機中であった。



H氏が昭和18年12月に除隊したあとの「昭和19年4月、第32師団は[南方軍傘下の]第14軍に編入され、フィリピンに進出した。……5月中旬、[ハルマヘラ島]に上陸した。移動中に輸送船が米潜水艦によって沈められ、多数の兵員が海没する損害を受けている。ハルマヘラ島に進出後は連合軍の上陸に備えて防衛態勢を整えていたが、その間に終戦となった。」(『陸軍師団総覧』163頁)